

令和7年度（2025年度）久留米大学病院臨床研修医募集要項

【基礎研究医コース】

基礎研究医コースの募集及び採用の決定は、医師臨床研修マッチング前に行います。

1. 応募資格 令和7年度（2025年度）医師免許取得予定者及び平成16年4月以降に医師免許を取得した者
久留米大学基礎医学講座にて基礎研究を行い、臨床研修後4年以内をめどに、基礎医学の論文を臨床研修管理委員会に提出する者
2. 募集人数 基礎研究医コース 1名
3. 研修内容 久留米大学病院は基幹型臨床研修病院であり協力病院、施設と臨床研修病院群を形成しています。
1年次は必修科を含め、研修修了の到達目標となっている経験症例を多く経験できる診療科を集中的に研修し、基礎医学講座において研究活動を行う期間は、2年次臨床研修期間の後半の20週とします。なお、基礎医学研修を開始する前に、臨床研修の到達目標の到達度の評価を行います。
4. 処 遇 (1) 常 勤
(2) 給 与： 約29万円（1年次）※手当含む 年棒約350万円
約31万円（2年次）※手当含む 年棒約370万円
勤務時間：8：30～17：00
※1日につき7時間30分、1週間あたり40時間の範囲内において定めるものとする。
休 暇：・日曜日 ・大学が指定した日（基本的には、土曜日）
・国民の祝日に関する法律に定める日
（祝日に開院する場合があります、その場合は振替休日取得にて対応する。）
・年末（12月29日から同月31日まで）、年始（1月2日及び3日）
・特別休日（8月15日）
(3) 原則として、時間外勤務は行わない。指導医と、週1回程度の宿直（手当有り）。
(4) 外部の研修活動（学会、研究会）への参加可。
(5) 宿舎有り（家賃月額：20,000円）。保育所・病児保育施設有り。
(6) 私学共済保険、労働者災害補償、雇用保険有り。
(7) 定期健康診断有り。
(8) 医師賠償責任保険は任意加入。
5. 採用予定日：令和7年度（2025年）4月1日
6. 申請書類 (1) 臨床研修申請書（様式3）
(2) 履歴書（様式2）
(3) 卒業見込証明書または卒業証明書
(4) 成績証明書
(5) 共用試験医学系 CBT 個人別成績表写し（※本試験）
7. 申請書類提出期限 **2024年（令和6年）5月24日（金）必着**
8. 選考方法 **書類選考・面接**
9. 選考日 **2024年（令和6年）6月上旬（※面接日程は調整のうえ連絡いたします。）**
10. 選考結果 書類審査及び面接にて選考し、選考結果を応募者に通知する。

（申請書類送付および問い合わせ先） 久留米大学病院 臨床研修センター
〒830-0011 福岡県久留米市旭町67番地 E-mail kensyu_c@kurume-u.ac.jp
TEL 0942-31-7503、FAX 0942-31-7913

令和7年度 臨床研修プログラム

基礎研究医コース: 定員1名

1年次	2か月(8週)		2か月(9週)		2か月(9週)		2か月(10週)		1か月(4週)	1か月(4週)	1か月(4週)	1か月(4週)
	内科 (久留米大学病院・久留米大学医療センター)		内科 (久留米大学病院・久留米大学医療センター)		内科 (久留米大学病院・久留米大学医療センター)		救急 (久留米大学病院)		外科 (久留米大学病院)	選択科	麻酔(救急) (久留米大学病院)	選択科
2年次	1か月(4週)	1か月(4週)	1か月(4週)	1か月(4週)	1か月(4週)	1か月(6週)	1か月(4週)	1か月(4週)	1か月(4週)	1か月(4週)	1か月(4週)	1か月(6週)
	小児科 (久留米大学病院・聖マリア病院・久大医セ)	産婦人科 (久留米大学病院)	精神科 (久留米大学病院・筑水会・聖ルチア・のぞえ)	一般外来 (久大医セ・田主丸中央・ヨコクラ・JCHO久留米・朝倉)	地域医療 (筑後川温泉病院・嶋田・神代・久留米リハビリテーション・菊池・内藤)	選択科	基礎医学	基礎医学	基礎医学	基礎医学	基礎医学	基礎医学

【必修】

内科: 久留米大学病院(呼吸器・神経・膠原病、消化器、心臓・血管、腎臓、内分泌代謝、血液・腫瘍)、久留米大学医療センター

救急: 久留米大学病院

外科: 久留米大学病院(心臓血管、呼吸器、乳腺・内分泌、肝臓・胆嚢・膵臓、消化管、小児)

麻酔科: 久留米大学病院

小児科: 久留米大学病院、聖マリア病院

産婦人科: 久留米大学病院

精神科: 久留米大学病院、筑水会病院、聖ルチア病院、のぞえ総合心療病院

地域医療: 筑後川温泉病院、嶋田病院、神代病院、久留米リハビリテーション病院、菊池郡市医師会立病院、内藤病院

一般外来: 久留米大学医療センター、田主丸中央病院、ヨコクラ病院、JCHO久留米総合病院、朝倉医師会病院

【選択科】 久留米大学病院の下記の各研修科及び協力病院より自由選択。

久留米大学病院

内科 [呼吸器・神経・膠原病、消化器、心臓・血管、腎臓、内分泌代謝、血液・腫瘍]

外科 [心臓血管、呼吸器、乳腺・内分泌、肝臓・胆嚢・膵臓、消化管、小児]

麻酔科、救命救急、小児科、産婦人科、精神神経科、整形外科、形成外科・顎顔面外科、

脳神経外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、放射線科、

病理診断科、がん集学治療センター、感染制御科、外科系集中治療部、臨床検査部

内科: 久留米大学医療センター、公立八女総合病院、大牟田市立病院

外科: 大牟田市立病院、JCHO久留米総合病院

救急: 聖マリア病院

麻酔科: 久留米大学医療センター、大牟田市立病院

小児科: 聖マリア病院

産婦人科: 聖マリア病院、小倉医療センター

精神科: 筑水会病院、聖ルチア病院、のぞえ総合心療病院

整形外科: 久留米大学医療センター

漢方診療: 久留米大学医療センター

総合診療科: 久留米大学医療センター

被災地研修: 岩手県立大船渡病院

【基礎医学】※基礎研究医コースのみ選択可

基礎医学講座

解剖学講座(肉眼・臨床解剖部門)、解剖学講座(顕微解剖・生体形成部門)、生理学講座(脳・神経機能部門)、

生理学講座(統合自律機能部門)、医化学講座、薬理学講座、病理学講座、感染医学講座(真核微生物学)、

免疫学講座、環境医学講座、公衆衛生学講座、法医学講座

I. 一般目標 (General Instructional Objective)

本プログラムでは、基礎医学を志す医師の減少に歯止めをかけるとともに、我が国の国際競争力を強化するため、キャリアパスの構築までを見据えた体系的な教育／研修を実施することにより、優れた基礎研究医の確保や基礎研究の強化を図ることを目的とする。

2年間の臨床研修期間において、医師として人格の涵養に努め、基本的診療能力を身につけながら、基礎医学講座において研究活動を行う。基礎医学講座においては基礎研究医としての基礎学力・専門知識を養い、医療人としての自覚を促し、生命の尊厳、医の倫理についての考えを深めながら、創造的かつ包括的な視点を持った研究医の基盤構築を図る。

II. 行動目標 (Specific Behavioral Objectives)

1. 医師として人格の涵養に努め、基本的な医療の知識・技能・態度を身につける。
2. プライマリケアを含めた幅広い豊富な症例を経験し基本的診療能力を高める。
3. 基礎医学における研究に取り組む。
4. 基礎医学分野における論文を作成する。
5. 基礎医学分野における学会にて発表の機会を設ける。
6. 基礎学力・専門知識を養い、医療人としての自覚を促し、生命の尊厳、医の倫理についての考えを深める。

III. 方略 (Learning Strategies)

オリエンテーション

研修プログラム開始時に、所属する基礎医学講座を左記講座より決定し、オリエンテーションを行う。

基礎医学における研究期間

基礎医学講座において研究活動を行う期間は、臨床研修到達目標にある程度到達し臨床研修修了が見込める2年次臨床研修期間の後半の20週とする。なお、基礎医学研修を開始する前に、臨床研修の到達目標の到達度の評価を行う。

基礎医学研究

基礎医学講座での研究期間は研究指導医(指導者)と共に研究テーマを探索する。研究においては毎週のカンファランスにおいて研究の進捗状況を発表し、テーマに沿った研究を行い結果を導き出す。限られた研究期間ではあるが基礎的、論理的な思考を行い科学的素養を身につける。

論文指導

研究テーマに応じた研究を行い、結果に従って論文を作成する。論文作成においてはまず最初に文献検索を始め論文作成に必要な知識を修得する。研究テーマに関連した論文を探し抄読会にて紹介する。指導医(指導者)による指導のもと論文を作成する。なお、論文提出は研修修了後の4年以内に行う。

学会発表(2023~2025年度の基礎医学における学会総会開催日程)

- 日本解剖学会 《2024年3月21日(木)~23日(土)》
- 日本生化学会 《2025年11月3日(月)~5日(水)》
- 日本生理学会 《2025年3月17日(月)~19日(水)》
- 日本薬理学会 《2023年12月14日(木)~16日(土)》
- 日本病理学会 《2024年3月28日(木)~30日(土)》
- 日本細菌学会 《2024年8月7日(水)~9日(金)》
- 日本免疫学会 《2024年1月17日(水)~19日(金)》

- 日本産業衛生学会 《2024年5月22日(水)~25日(土)》
 - 日本公衆衛生学会 《2024年10月29日(火)~31日(木)》
 - 日本法医学会 《2023年6月7日(水)~9日(金)》
- など

IV. 評価 (Evaluation)

基礎医学期間中、論文の作成について指導を受け、臨床研修後4年以内に作成した基礎医学の論文を臨床研修管理委員会に提出する。また臨床研修修了後に、到達目標の達成度と臨床研修修了後の進路を管轄する地方厚生局に報告する。

V. 基礎医学講座と指導医(基礎医学研究年数)

解剖学講座(肉眼・臨床解剖部門)

指導医: 渡部 功一(基礎医学研究歴21年)、力丸 由起子(基礎医学研究歴15年)

解剖学講座(顕微解剖・生体形成部門)

指導医: 嶋 雄一(基礎医学研究歴20年)

生理学講座(統合自律機能部門)

指導医: 中島 則行(基礎医学研究歴24年)、武谷 三恵(基礎医学研究歴26年)

医化学講座

指導医: 山本 健(基礎医学研究歴30年)

薬理学講座

指導医: 西 昭徳(基礎医学研究歴36年)、大西 克典(基礎医学研究歴28年)、中村 祐樹(基礎医学研究歴17年)

病理学講座

指導医: 真田 咲子(基礎医学研究歴24年)、近藤 礼一郎(基礎医学研究歴21年)、草野 弘宣(基礎医学研究歴19年)、中山 正道(基礎医学研究歴15年)、三原 勇太郎(基礎医学研究歴15年)、三好 寛明(基礎医学研究歴15年)、古田 拓也(基礎医学研究歴14年)、高野 桂(基礎医学研究歴19年)、竹内 真衣(基礎医学研究歴13年)

感染医学講座(真核微生物学)

指導医: 井上 雅広(基礎医学研究歴39年)

免疫学講座

指導医: 溝口 充志(基礎医学研究歴34年)、溝口 恵美子(基礎医学研究歴34年)

環境医学講座

指導医: 石竹 達也(基礎医学研究歴34年)、森松 嘉孝(基礎医学研究歴19年)

公衆衛生学講座

指導医: 谷原 真一(基礎医学研究歴29年)、石田 陽子(基礎医学研究歴10年)

法医学講座

指導医: 神田 芳郎(基礎医学研究歴40年)

生理学講座(脳・神経機能部門)

VI. 研修修了後のキャリアパス

本プログラムにおけるキャリアパスとしては、臨床研修終了後に基礎・臨床融合教員として基礎医学講座で研究活動を継続しつつ、大学院での臨床活動も合わせ行い、また国内・海外留学など自己の希望に沿った多様なキャリアを形成することができる。

臨床研修修了後も基礎・臨床の垣根を取り払った Clinician Scientist として、基礎医学講座にて研究活動を行いながら、自己の特性や興味の対象を見極め、職責等を勘案しつつ基礎研究と臨床活動のバランスを調整してゆく。

本プログラムでは研究に対する自己の可能性を見極めた上で将来的に最終進路を決断できるため、将来に不安を感じること無く研究への第一歩を進むことができる。